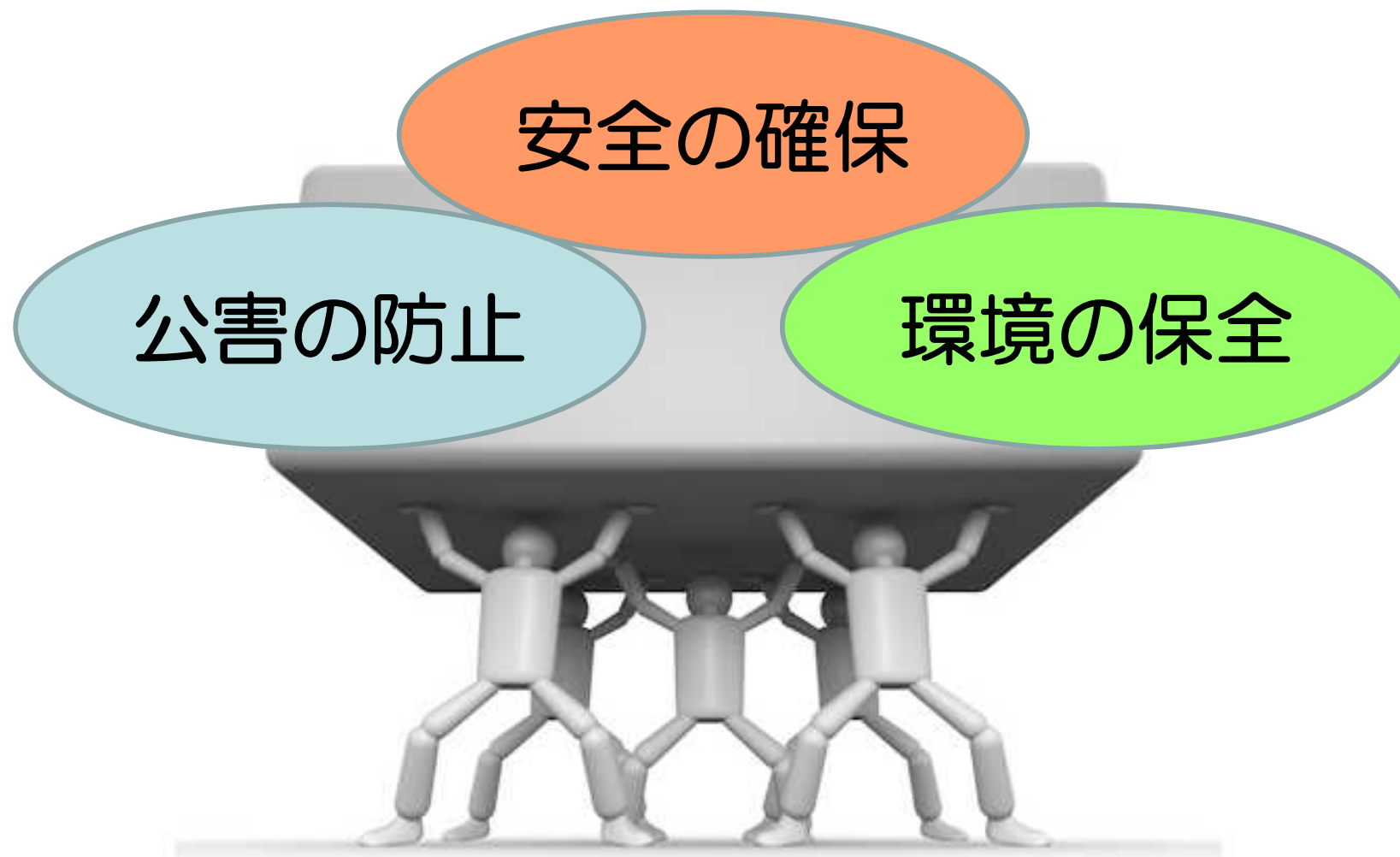


東北運輸局技術系職員の業務紹介

平成30年7月17日～

東北運輸局 業務説明会



自動車の設計や生産を行うわけではありませんが、自動車の構造・装置に関する安全・環境基準の策定や、自動車の審査・検査を通じて、

安全・安心なクルマ社会を実現するための社会貢献
を行っています。

国土交通省の施策(自動車)

☆自動車の検査制度

- 自動車が保安基準に適合するかどうかの確認を行う制度

☆自動車の点検整備制度

- 日常的、定期的に点検整備を実施することにより保安基準に適合させる制度

☆自動車の基準・認証制度

- 自動車メーカー等が基準適合性について審査を事前に受け、新規検査の効率化を図る制度

☆自動車のリコール制度

- 自動車メーカー等が設計・製造上の問題があったときに、安全確保のため国土交通省に届け、回収・修理を行う制度

自動車運送事業の安全対策

- バス、タクシー、トラックの事故防止や環境対策など

自動車整備事業の育成と指導・監督

- 整備工場への監査・監督のほか自動車整備士の育成など

鉄道自体を建設し運営するわけではありませんが、鉄道を安全かつ安心して便利に利用できるようにするために非常に重要な役割を果たしています。

書類の審査から完成検査、保安監査等を通して

列車の安全運行に寄与しています。



鉄道・軌道（路面電車）のほか、索道（ロープウェイ、スキー場のリフト）の運行の許可・認可・届出に関する業務の他、鉄道・軌道・索道の施設（線路、トンネル等）、車両（気動車、電車等）に関する構造及び点検・整備に関し安全確保の指導を行っています。

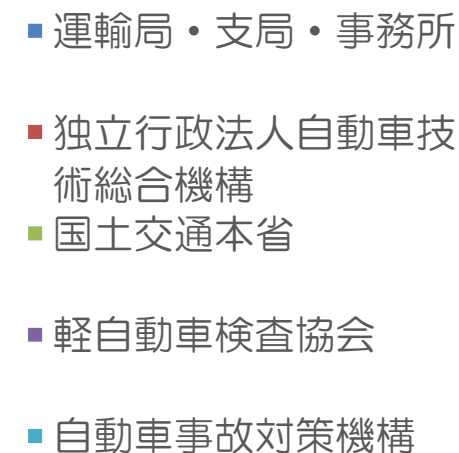




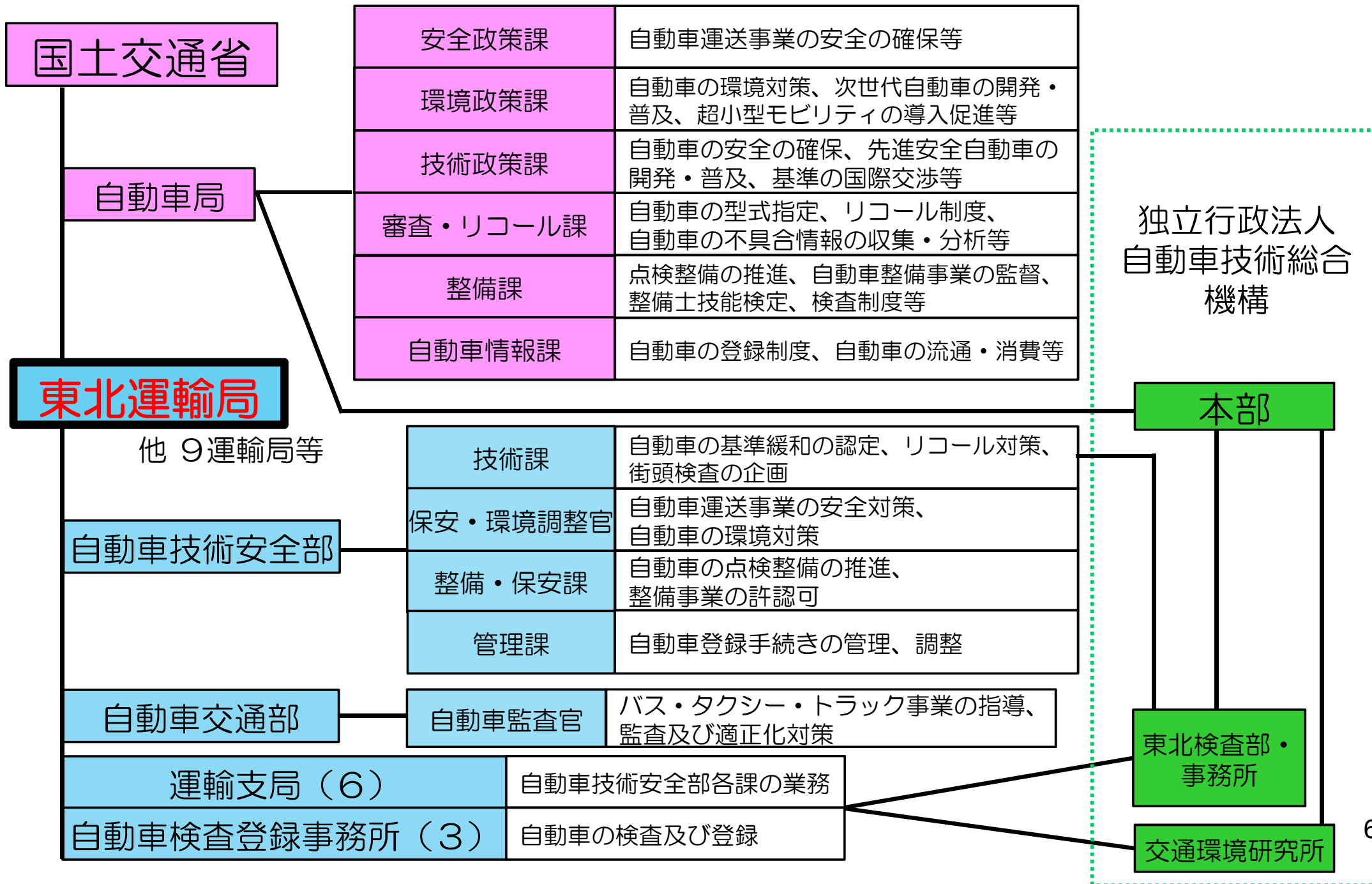
◆(独)自動車技術総合機構 61名

◆(独)自動車事故対策機構 3名

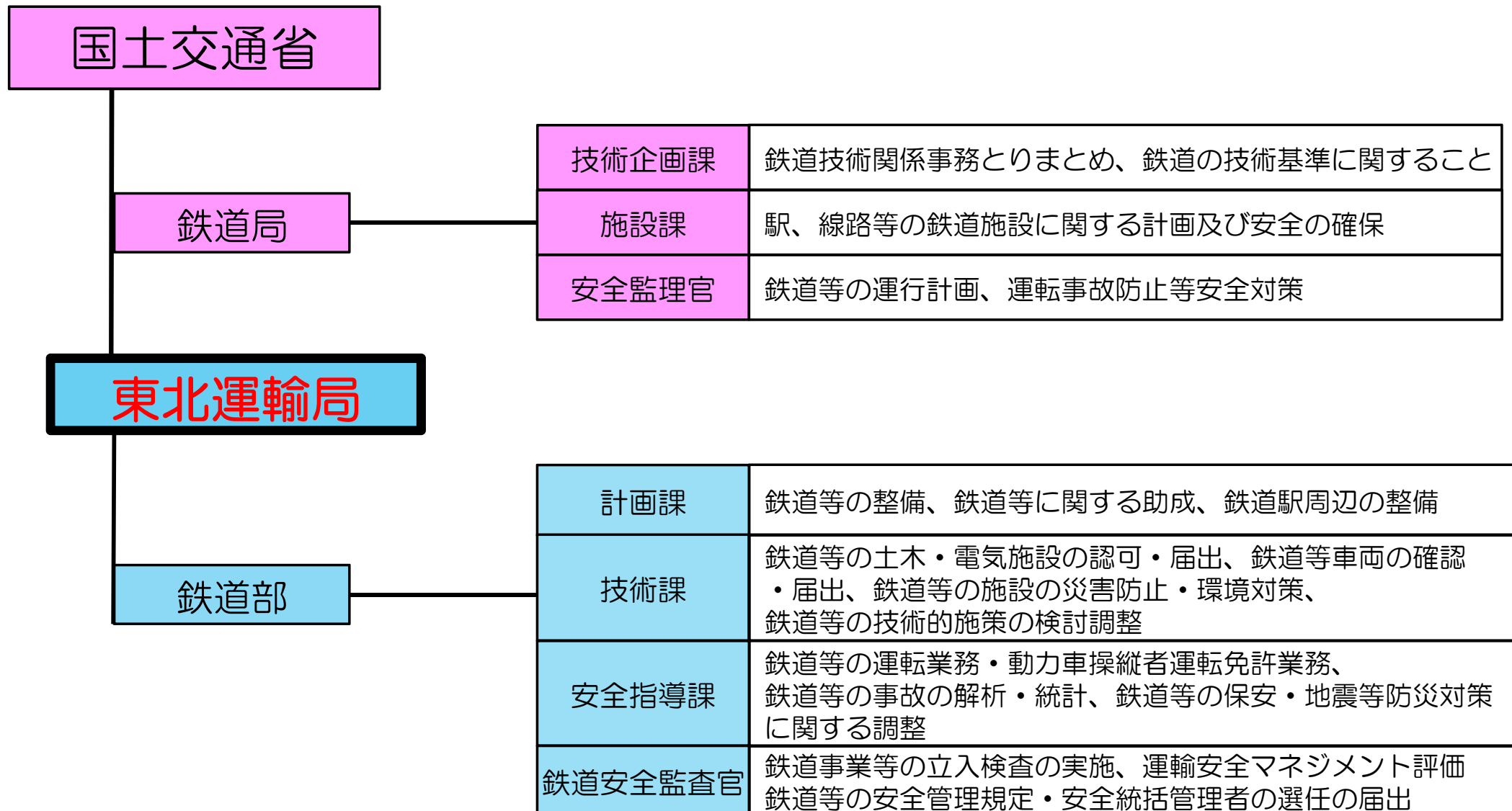
技術系職員数 161名



国土交通省の組織(自動車)



国土交通省の組織(鉄道)



自動車の検査業務

自動車が道路運送車両法に規定する道路運送車両の保安基準に適合しているか検査します。

国の業務

運輸支局又は自動車検査登録事務所が実施

(独)自動車技術総合機構の業務

検査部又は事務所が実施

検査申請の受付

検査場内のコースでの
保安基準適合性審査
(新規検査、継続検査、
構造等変更検査等)

自動車検査証の交付

検査で守ろう 人・車・自然

検査場における検査

検査コースにおいて、検査官が最新の機器を使用し、1台1台の自動車を効率よく検査します。

自動車検査場
(独)自動車技術機構
○保安基準適合性にかかる審査

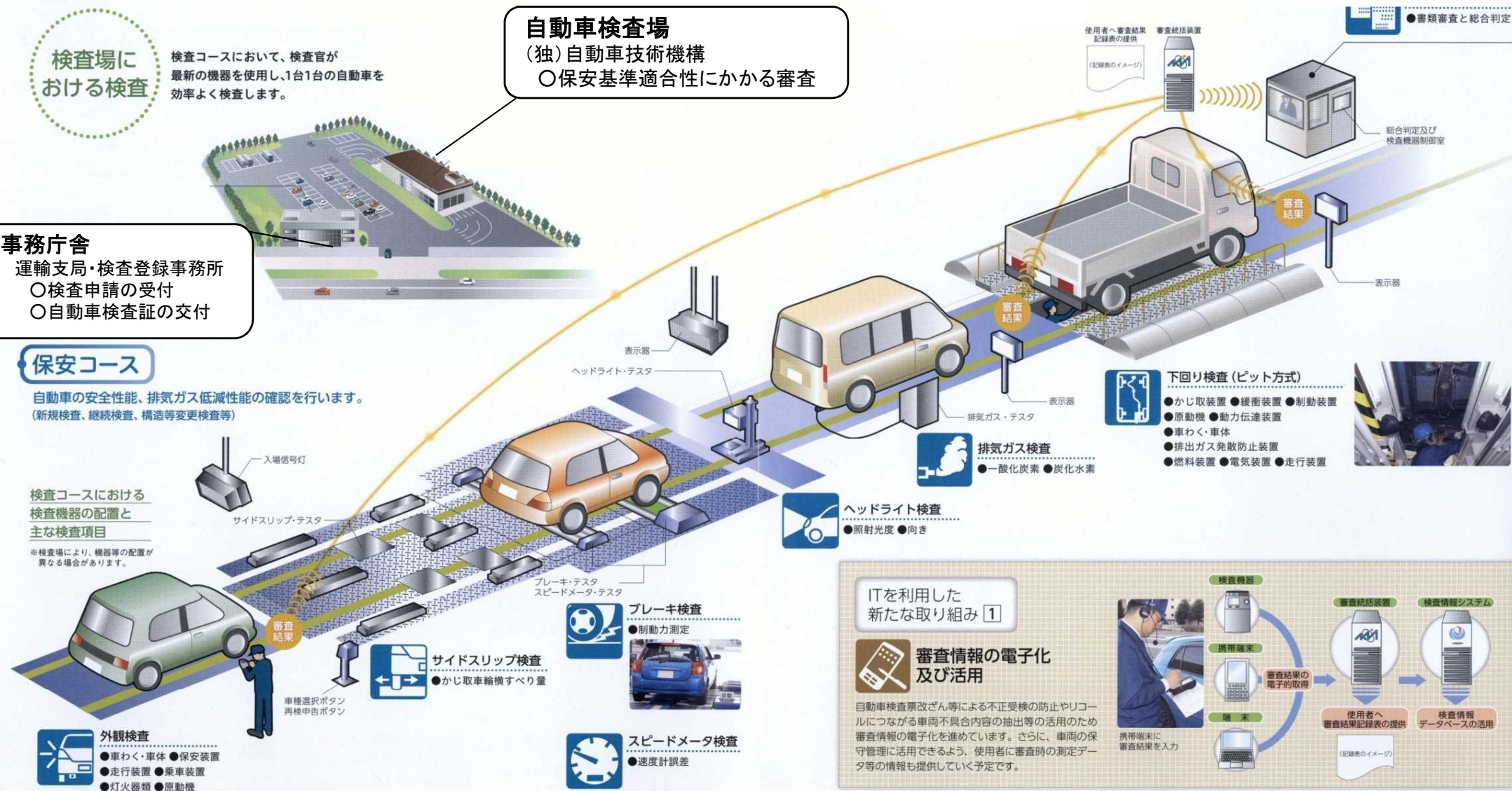
事務庁舎
運輸支局・検査登録事務所
○検査申請の受付
○自動車検査証の交付

保安コース

自動車の安全性能、排気ガス低減性能の確認を行います。
(新規検査、継続検査、構造等変更検査等)

検査コースにおける検査機器の配置と主な検査項目

※検査場により、機器等の配置が異なる場合があります。



- 外観検査**
- 車わく・車体 ●保安装置
 - 走行装置 ●乗車装置
 - 灯火器類 ●原動機
 - 電気装置 ●操縦装置

- 同一性の確認**
- 車台番号 ●原動機型式
 - 番号標 ●種別 ●用途
 - 車体の形状



各種の検査



二輪自動車の検査
自動検査機器により検査します。



近接排気騒音検査
消音器等の排気音を測定します。



安定傾斜角度検査
自動車の安定性を検査します。



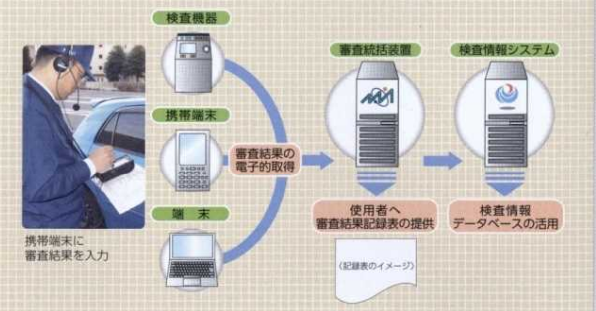
黒煙検査
オパシメータ等を用いて黒煙を検査します。

- 下回り検査(ピット方式)**
- かじ取装置 ●緩衝装置 ●制動装置
 - 原動機 ●動力伝達装置
 - 車わく・車体
 - 排出ガス免散防止装置
 - 燃料装置 ●電気装置 ●走行装置

ITを利用した新たな取り組み ①

審査情報の電子化及び活用

自動車検査票改ざん等による不正受検の防止やリコールにつながる車両不具合内容の抽出等の活用のため審査情報の電子化を進めています。さらに、車両の保守管理に活用できるよう、使用者に審査時の測定データ等の情報も提供していく予定です。





外観検査



騒音検査



下回り検査



二輪・排気ガス検査

保安基準適合性の検査(街頭検査)

運輸支局・自動車検査登録事務所と（独）自動車技術総合機構は連携して街頭検査を実施しています。

街頭検査では、排気ガス・黒煙や騒音などの測定検査とあわせて、不正改造等の保安基準不適合車の排除に取り組んでいます。



自動車の検査制度と点検整備制度

自動車の検査

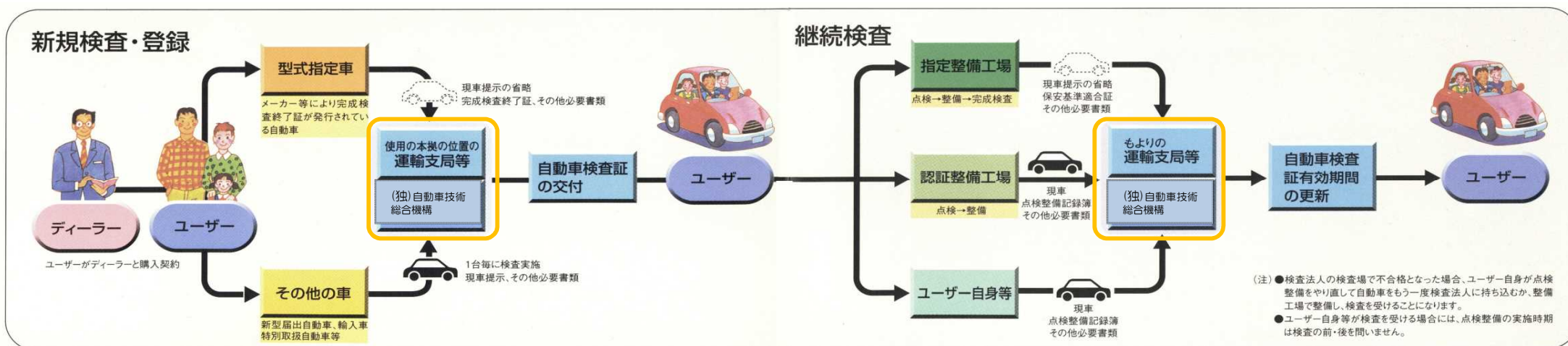
検査を受けて有効な自動車検査証の交付を受けていなければ運行できません。個々の自動車が安全や環境などの基準に適合しているかどうかを、国が一定期間ごとに確認するのが自動車の検査です。

自動車の点検・整備

自動車使用者には保守管理責任があると法律に規定。

自動車を安全や環境などの基準に適合させるために、日常点検整備と定期点検整備を確実に実施することが求められています。

自動車検査の流れ（自家用乗用車の例）



自動車の点検整備制度

☆整備命令制度

街頭検査等において自動車が保安基準に適合しない場合には、必要な整備を命ずることができる制度。

☆点検勧告制度

整備命令を発令する際などに、定期点検整備を実施していない場合（劣化、摩耗等が原因）、定期点検整備を行うよう勧告を行う制度。



夜間の街頭検査

自動車整備事業の指導・監督業務

東北運輸局では、自動車分解整備事業者の指導や監督の業務を行っているほか、認証工場や指定工場（民間車検場）の認可等の業務も行っています。

自動車分解整備事業（認証整備工場）

東北地区で8,656工場（平成30年3月末現在）

- エンジン交換やブレーキの分解など安全上重要な整備を行う事業を営むためには、国の認証を受ける必要があります。認証を受けた工場には図の標識を掲示しています。

JS 東北運輸局長認証

普通自動車分解整備事業

普通自動車（小型）
普通自動車（乗用）
小型四輪自動車

指定自動車整備事業（民間車検場）

東北地区で2,803工場（平成30年3月末現在）

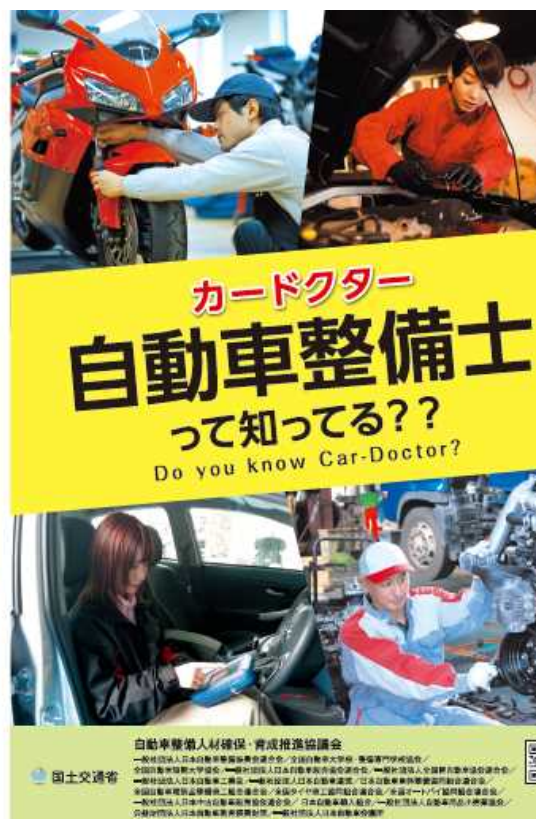
- 自動車分解整備事業の認証を受け、優良な設備、技術管理組織、検査の設備を有する工場。
- 指定を受けると、継続検査（車検）の際に、国の検査場への現車提示が省略されます。

JS 東北運輸局長指定

指定自動車整備事業

普通自動車（小型）
普通自動車（乗用）
小型四輪自動車

東北運輸局では、自動車整備に係る技術の向上を図るために、自動車整備士養成施設（専門学校等）の指導・監督を行うとともに、自動車整備士技能検定試験を行っています。



自動車の基準・認証制度



前面衝突試験



側面衝突試験



排出ガス試験

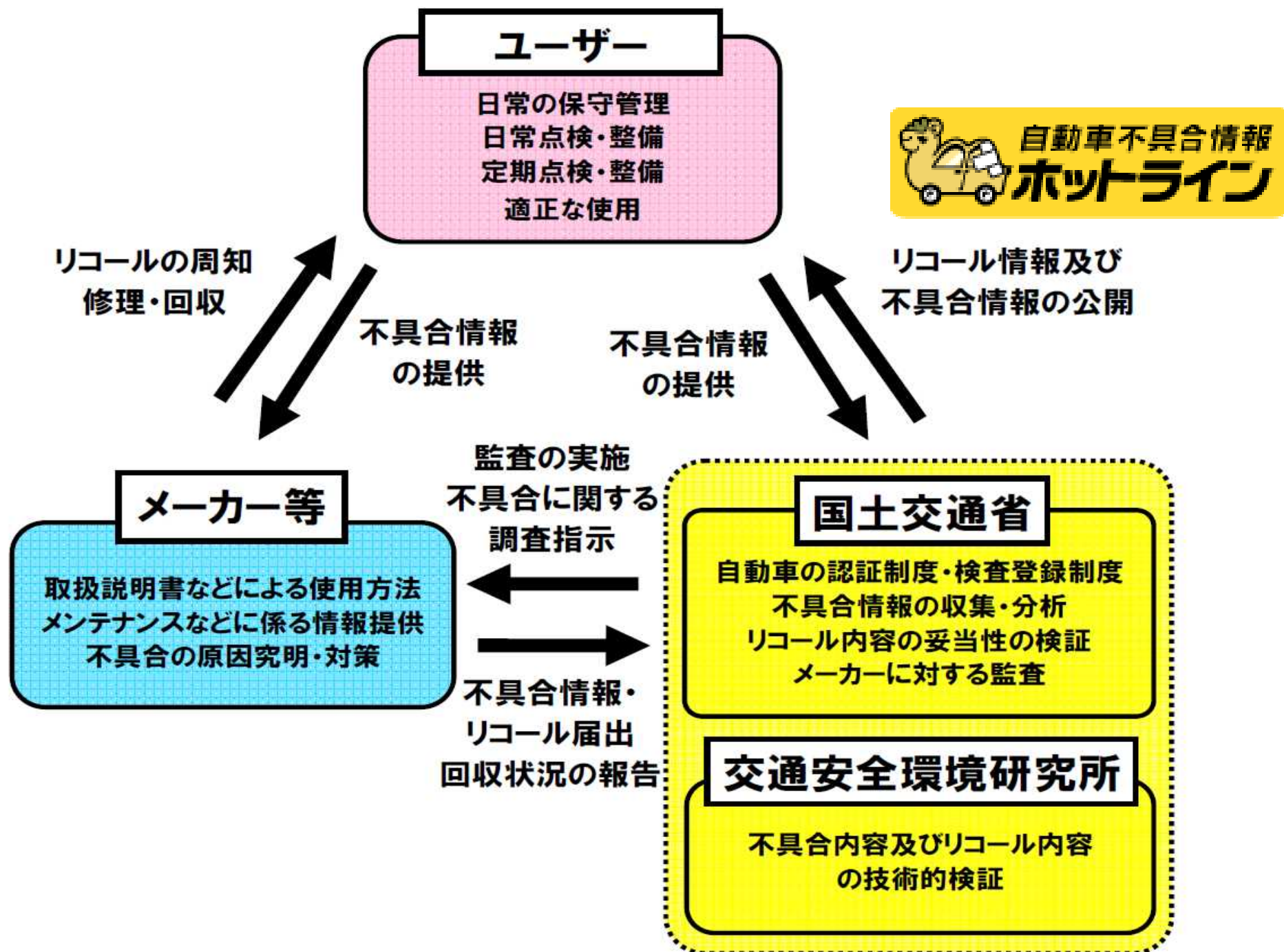
自動車のリコール業務

リコールとは…

同一の型式で一定範囲の自動車等又はタイヤ、チャイルドシートについて、道路運送車両の保安基準に適合していない又は適合しなくなるおそれのある状態で、その原因が設計又は製作過程にあると認められるときに、自動車メーカー等が、保安基準に適合させるために必要な改善措置を行うことをいいます。

運輸局では…

ディーラー等へ立ち入りし、不具合情報の収集・分析を行い、メーカーが適切に改善措置を行っているかなどの情報を確認するとともに、国土交通本省と協力しメーカーへの立入監査を実施します。



自動車のリコール業務

➤ 事例



【緊急告知】⚠

平成30年5月から、
エアバッグのリコール未改修の場合、
車検が通らなくなります！
早急にリコール作業を受けて下さい。

● 対象車種 ●

タカタ製エアバッグを搭載した

- い す ゞ コモ
- S U B A R U インプレッサ、レガシィ
- ダ イ ハ ツ ミラ、ハイゼット など4車種
- トヨタ・レクサス ヴォクシー、カローラ、SC430 など25車種
- 日 産 エクストレイル、フーガ など14車種
- ピーエムダブリュー E46、3シリーズ(318i、320i など)11種
- ホ ン ダ フィット、アコード など31車種
- マ ツ ダ RX-8、アテンザ など5車種
- 三 菱 ランサー、アイ など4車種

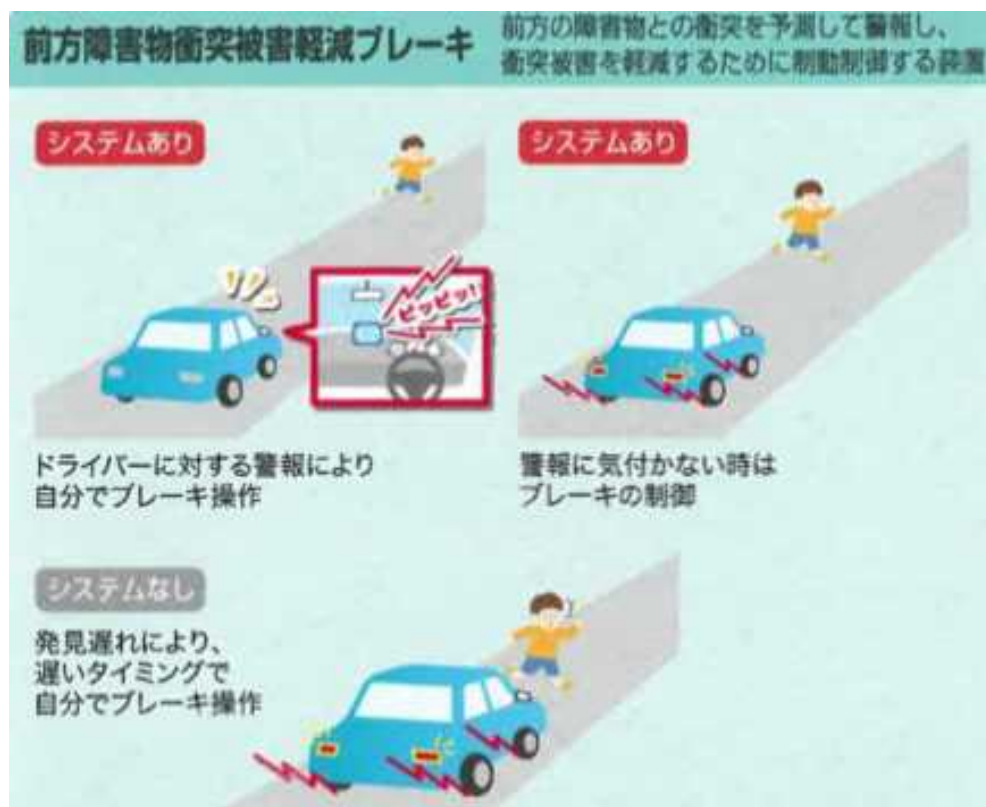
※詳しくは裏面をご覧ください。



先進自動車(ASV)の普及促進業務

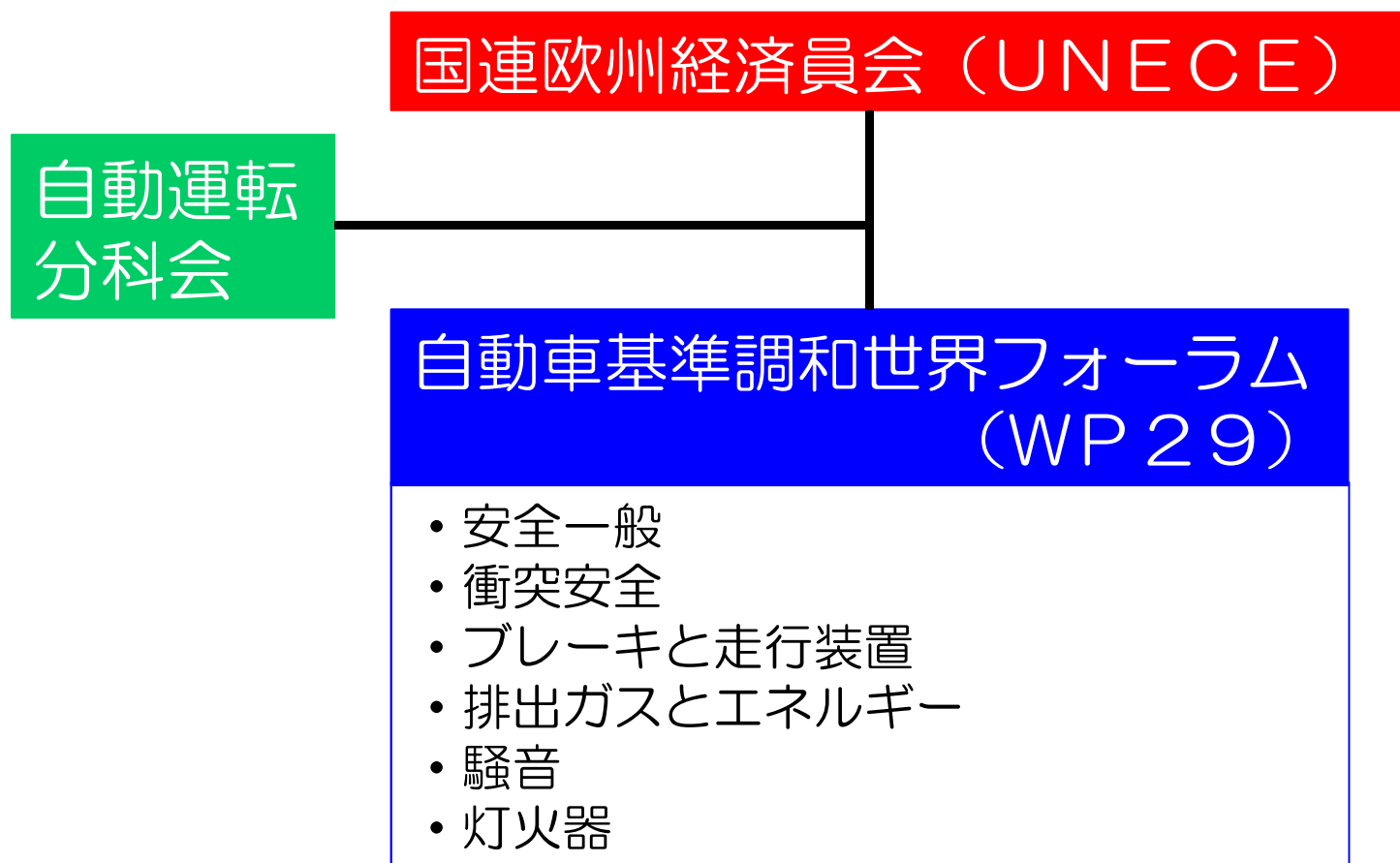
先進安全自動車 (ASV) は、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車です。国土交通省ではASVの開発・普及を推し進めています。

➤ ASV具体例



国際基準調和業務(本省)

安全で環境性能の高い自動車を早期・安価に普及させるため、国連欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム（UNECE／WP29）等に積極的に参加し、安全・環境基準の国際調和を推進するとともに、その活動を通じ、日本の新技術を国際的に普及させていくための積極的な提案を行っています。



自動車運送事業監査業務

自動車運送事業者に対して、運行管理及び整備管理に係る業務の指導・監督を行うことで事業用自動車の安全な運行を確保しています。

• 運行管理業務とは...

自動車運送事業者は、公共の道路を使い、一般の車や歩行者と混在して走行するなか、ハンドルを握るドライバーに最終的な安全確保の措置がゆだねられるため、ドライバー一人ひとりの健全な心身と高い安全意識が求められます。

一方で、一部の事業者の安全意識の欠如による重大事故の発生などを受けて、安全に対する社会的要求が一層高まっています。

安全運行に必要なドライバーの健康管理及び運行時間等を管理すること、それが運行管理です。

• 整備管理業務とは...

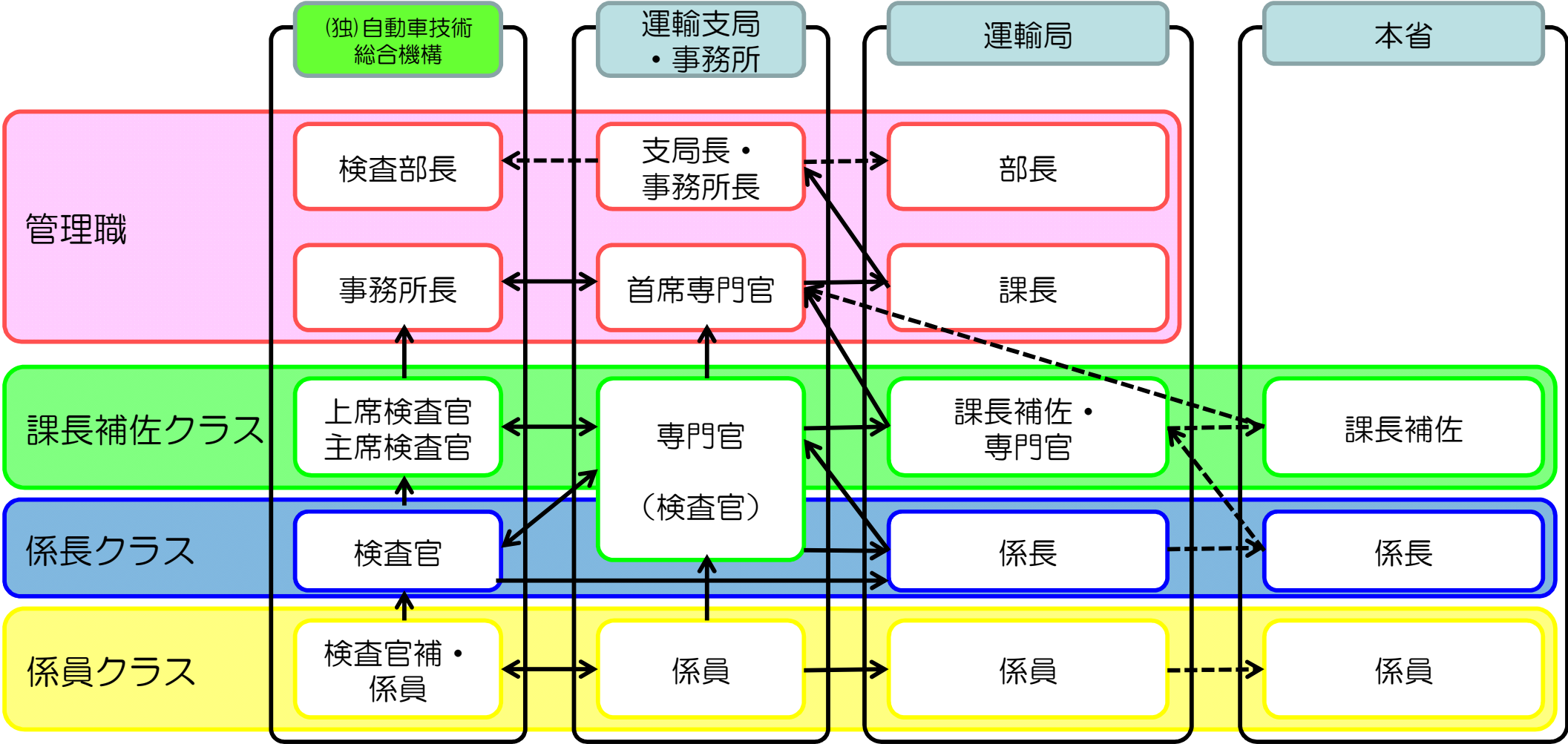
本来、自動車は使用する自動車の点検・整備・車庫の管理等をその使用者に求めています。

自動車運送事業者は、使用する自動車が多数の場合が多く、事業者自らがすべての保有自動車についてその管理をすることは困難となり、管理責任体制が曖昧になります。

また、整備不良等が原因で故障や重大事故が発生するおそれもあります。

自動車の整備に関する専門知識を有する者が、計画的に点検・整備等の管理を実施すること、それが整備管理です。

➤ 一般的な異動例です



出向先の例

(独)自動車技術総合機構

軽自動車検査協会

(独)自動車事故対策機構

研修制度が充実しており、**自動車に関する知識が無い人でも**、各種専門研修により業務に必要な知識を習得することができます。

➤初年度受講研修の例

- 新規採用職員研修（4月 仙台市内）
⇒公務員倫理、接遇 等
- 新規採用者導入研修（5月 八王子市）
⇒自動車の基礎、法令関係 等
- 新規採用者技術研修（6月 八王子市）
⇒車検場での検査実習、審査事務規定 等
- 窓口業務OJT研修



下回りの構造確認実習



テストの体験実習



足回り点検実習



ディーゼル黒煙測定実習

鉄道技術業務(列車の運転免許)

東北運輸局では、鉄道営業法に基づき列車の運転免許試験（動力車操縦者試験）を行っています。

～運転免許資格取得試験の流れ～

Step1：身体検査

視機能（例：視力両眼1.0以上 等）、聴力、疾病、身体機能等について診断書により確認します。



Step2：学科試験

国土交通省で作成した試験問題を使って、安全に関する基本的事項、車両の構造及び理論、運転理論等の知識について、学科試験を行います。（年2回）

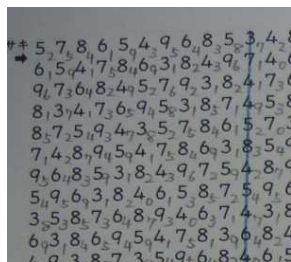


学科試験の様子

Step3：適性検査

・クレペリン検査

ランダムに数字が羅列している数表を使って、隣り合わせの数の足し算を所定の時間内に行うことで適性を診断します。



クレペリン検査用紙

・反応速度検査

ランダムに光る3色の光に対応したキーを押して、正答数、誤答数により適性を診断します。



反応速度検査器

Step4：技能試験

・ブレーキ操作

ホーム上で停止位置との誤差を測定します。

列車停車時等の揺れを測定します。

ホーム上の停止位置の確認



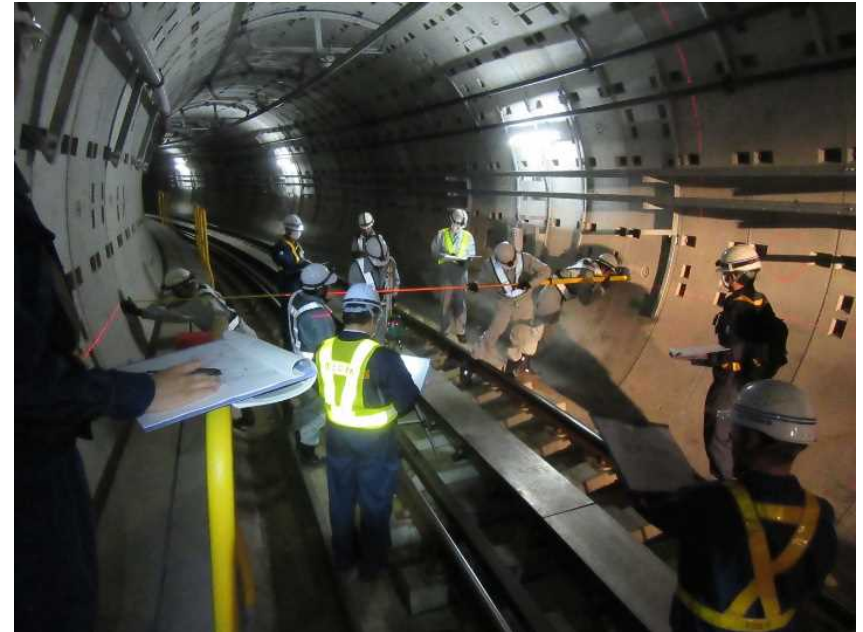
・非常の場合の措置

事故発生時等の処理方法が適切かどうか審査します。



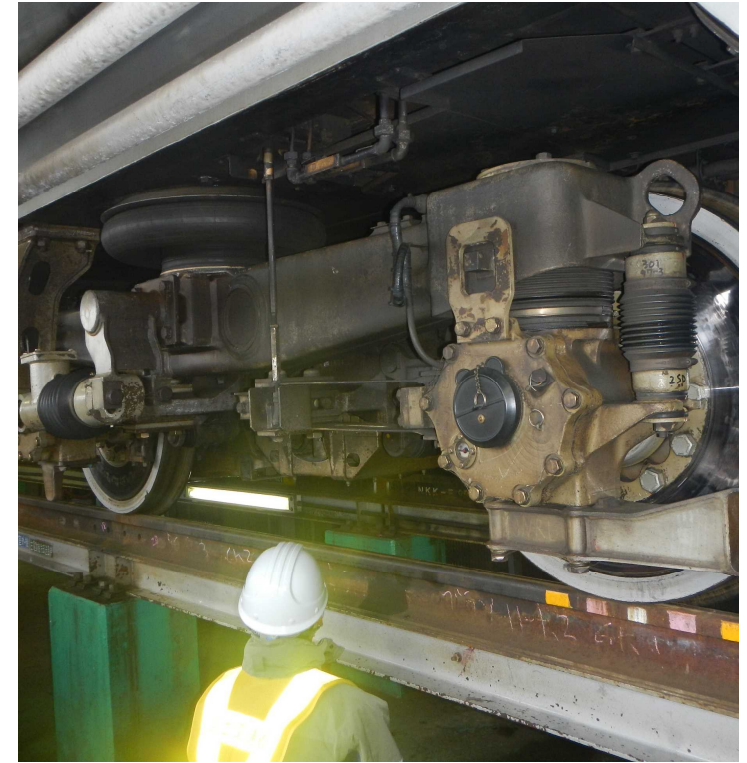
事故発生時の処理方法の審査

※ この他にも、列車運転中に目標物までの距離を回答してもらう「距離目測」、出庫時の車両点検方法の審査等があります。この技能試験は鉄道会社の施設・車両を使って実施します。



常磐線（駒ヶ嶺～浜吉田）完成検査

仙台市東西線完成検査



鉄道技術業務(保安監査、踏切事故防止啓発活動)

保安監査や運輸安全マネジメント評価等鉄道の監査、事故防止対策等に関することを行っています。

保安監査（鉄道）



安全運動（イベント）



保安監査（索道）



国民の安全を守り、安心を提供する

東北運輸局技術系職員は、自動車・鉄道の安全性確保、公害防止、環境保全のためのさまざまな施策に取り組んでいます。

業務内容等についてご質問等がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

国土交通省 東北運輸局
自動車技術安全部技術課

TEL：022-791-7535



国土交通省

国土交通省のシンボルマークは、人と国土、躍動をイメージしました。国土の上で人々が弾んでいる躍動感を、人々のハートである「心」の文字をデザイン化しています。

また、4省庁が心をつにし、国土交通省が未来に向かって躍動する姿を表しています。ライトブルーはとらわれない軽やかさ、明るい赤の部分は人々の熱い思いを表しています。

「2001（平成13）年1月6日、北海道開発庁、国土庁、運輸省、建設省を統合し、国土交通省が発足しました。」